社説

文明先輩の功勞忘る可らず

國に政府を設くるは國事を處理せしむる爲めに外ならざれども文明立國に必要の施設は甚だ多々にして政治は只その一部分の仕事に過ぎざるのみ假りに今、政府の組織[illegible]して恰も[illegible]するとあらんか一時の混雜は固より免かる可らずと雖も唯是れ一時の波瀾にして之が爲めに必ずしも國家の滅亡を決す可きに非ず[illegible]して國民が文明の要素に缺乏して自立の元氣を失ふともあらんには社會は忽ち暗黑に陷りて立國の體面をも維持す可らざるに至る可し東洋諸國支那朝鮮の如き紛れもなき實例にして其國勢の終に振はずして滅亡に瀕するは國民に文明の思想なくして隨て自立の元氣に乏しきが故なり我國の王政維新は政治上の大改革に相違なしと雖も更らに他の方面より見れば同時に社會萬般の改革にして文明開化の端路を開きたる効績は決して抹殺す可らず我輩の確かに認むる所なれども抑も其改革の原因を尋ぬれば一朝一夕の事に非ず由來甚だ久しく幾代の間に次第に國運の氣運を釀成して一旦その機の熟するに及んで先づ政治上の改革に着したるのみ左れば國家の大勢上より見るときは維新の一事の如き單に[illegible]

[illegible]

進歩黨要求の成行如何

[illegible]